

平成29年第3回筑紫野市教育委員会臨時会

○日 時

平成29年2月8日（水）午後16時31分から午後17時26分

○場 所

筑紫野市役所 第9会議室

○出席委員（5名）

教 育 長 上 野 二三夫

教 育 委 員 近 本 明

教 育 委 員 田 代 邦 夫

教 育 委 員 潮 見 眞千子

教 育 委 員 西 村 幸 子

○欠 席 委 員（0名）

○出席説明員（11名）

教 育 部 長 熊 手 寛 明

教 育 政 策 課 長 森 敬

学 校 給 食 課 長 砥 上 章

文 化 情 報 発 信 課 長 奥 村 俊 久

指 導 主 事 井 口 弘 美

社 会 教 育 主 事 宮 垣 郁 子

教 育 部 付 部 長 江 崎 雅 彦

学 校 教 育 課 長 横 山 美 津 子

生 涯 学 習 課 長 長 澤 龍 彦

指 導 主 事 中 尾 智 浩

指 導 主 事 松 田 高 行

○出席事務局職員（1名）

教 育 政 策 課
庶 務 担 当 係 長 田 川 博 章

○議 事 日 程

1. 教育長の報告について
2. その他

会議録

○教育長：皆さん、こんにちは。今日は大変寒い中、また、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから平成29年第3回筑紫野市教育委員会臨時会を開会します。

では、議事日程の順序に従い会議を進めます。なお、発言は議長の許可を得た後にお願いします。

日程1、教育長の報告の件

○教育長：天拝中学校の体罰事案について報告します。

- ・体罰事案の概要について
- ・市教委としての見解について

○教育長：続けて、体罰によらない児童生徒への指導の徹底について、市教委から学校へ行った通知について報告します。

- ・体罰によらない児童生徒への指導の徹底について

○教育長：通知にある「体罰によらない指導の手引き（福岡県教育委員会平成25年8月）」を教職員へ配布し、指導をしていたにも関わらず、今回のような事案が発生してしまい、大変残念に思います。

以上で、私からの報告といたします。この件に関して、質問等を受け付けます。

○西村教育委員：報告によると男性教諭から推薦を受ける資格に関して発言があったということですが、生徒の高校推薦を取り消すという発言はなかったと思います。生徒が学校の代表として推薦を受けるに相応しい人間でなければならないという意味の発言だと思えます。学校が生徒の推薦を取り消すなどの誇張した表現をしていけばそれは意味からずれていると思いますので確認をお願いします。

○中尾指導主事：推薦の取り消しは学校が出来ることではありませんので、推薦を受ける者としてしっかりした態度でないといけないという意味だと思われま。

○横山課長：事実を確認し、文言として不要に強い表現にならないように報告内容を見直します。

○潮見教育委員：学校運営協議会には事案が発生した時に早めに連絡をしていただければよかったと思います。ことが大きくなるならに問わずです。

○教育長：それは本当に反省すべき点だったと思います。また、警察のOBがいるスクールサポーターにお話するなどして他機関と連携を取っていると外部には報告しております。いつも支えてくださっている協議会にも事の重大さに問わずしっかり連絡していきたいと思えます。

○田代教育委員：体罰の内容についてお尋ねしたいのですが、人を蹴るというのは実際の状況で受け取り方が違うと思います。実際どの程度の蹴りだったのか、普段の教諭の指導内容について教えていただきたい。

○教育長：被害に遭った子どもたちから言わせると、大して強くなかったとのこと。普段は女子テニス部も持っており、非常に真面目で熱血漢ですね。人が一生懸命話しているときに笑っていたり、私語をしているとカチンとくるわけです。しかも2年生の生徒会が主催する委員会で3年生の態度が悪かったことで怒って指導し、そんなときに生徒が笑ったから怒ったようです。体罰が許されるべきではありませんが、学年主任としてのプライドが強く出たのかもしれない。

○近本教育委員：ことの発端となった生徒がうすら笑った原因は聞いていないのですか。全然関係ないことで笑ったのか、それとも先生を軽蔑するように笑ったのでしょうか。そこは大事なところですよ。

○井口指導主事：教諭が直接生徒へ何故笑ったのか聞きに行ったときには、生徒は理由を答えられなかったようです。体罰に走ったのはその後です。

○近本教育委員：特に問題が発生しない落ち着いた学校ほど落とし穴はあるものです。ある程度の緊張感は大事です。私の体験から言うと、人を怒るときは人前で怒ってはいけません。別室等で話すことです。また、子どもを座らせて自分が立ってはいけません。同じ目線で話すことで心を開いて話すことができます。

○教育長：本当に近本委員が言われたとおりですね。子どもの発言についてすぐカッとせず受容する。一旦受け入れて自分に考えさせる。そのようなやり取りが今回は抜けておりました。二人とも普段はとても優しい男の子だそうです。

○教育部付部長：現場にいた子どもたちから聞いた話によると、本人にはやはりふざけたという自覚はあり、先生が行った指導に納得しているそうです。むしろ新聞に載って大事になったことについて心配しているとのことですよ。

○近本教育委員：自分に体罰を行った先生を心配できるその子を褒めるべきです。子どもと向き合い、その時どのような言葉をかけるか、それが自尊感情を高める材料になります。

ある一人の中学生の不良について例を挙げたいと思います。彼はタバコは吸うし、酒は飲むし、物を壊し、喧嘩も頻繁にするような手のつけられない子どもでした。しかし裁判所のある人からその子へこのような話をしたそうです。「普通の学校なら君をどうにかして少年院に行かせるよう相談するところだが、君の学校の校長や担任の教諭は君のことをいつも心配して手紙に書いていた。だから君の学校は珍しい。」と。その子は感動し、すぐに学校へ行き、先生たちの前で明日からもう悪いことはしないと誓ったそうです。その場の先生は、今までしてきた悪いことをいきなりやめれば周りの仲間から叩かれるからと、一つだけするなと言いきり、それを実行させること

で、また少しずつその生徒は良くなっていったそうです。声かけ一つで思春期の子どもというのは大きく変わるということです。

○教育長：ありがとうございました。大変良いお話を聞かせていただきました。教師の一言で大いに子どもが蘇るし、その逆もあるということですね。

○西村教育委員：時期的に受験シーズンなのもあり、3年生にはしっかりして欲しいという気持ちがあったのではないかと思います。インターネット上では色んな憶測が飛び交っていますので、それを見た子どもがどのように受け取るか、しっかり事実を踏まえて対応されるのがいいと思います。

○近本教育委員：足りないところはあったかもしれないが、教育長はじめ職員は対応に尽力してくれたことがわかります。本当にお礼を言いたい。ありがとうございました。

○教育長：最後に処遇についてですが、この事案について、市教委として当該職員へ文書訓告、校長及び不適切な発言をした教諭に対して厳重注意を科したいと考えていますが、よろしいでしょうか。

○（特になし）

○教育長：それでは本日は天拝中学校の体罰事案について報告いたしましたが、その他ご異議などはありますでしょうか。

○（特になし）

○教育長：それでは、これをもちまして第3回筑紫野市教育委員会臨時会を閉会します。